

令和4年度 決算報告書

国立大学法人名古屋工業大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,841	4,988	147	(注1)
うち補正予算による追加	-	-	-	
施設整備費補助金	807	807	-	
うち補正予算による追加	-	-	-	
補助金等収入	330	375	44	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	26	26	-	
自己収入	3,469	3,720	250	
授業料、入学料及び検定料収入	3,227	3,281	54	(注3)
雑収入	241	438	196	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,521	3,338	817	(注5)
目的積立金取崩	-	358	358	(注6)
計	11,996	13,614	1,617	
支出				
業務費	8,412	8,655	243	
教育研究経費	8,412	8,655	243	(注7)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	833	833	-	
補助金等	229	278	49	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,521	2,879	358	(注9)
長期借入金償還金	-	-	-	
計	11,996	12,648	651	
収入－支出	-	966	966	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因運営費交付金の交付及び教育・研究基盤維持経費の配分により、予算額に比して決算額が147百万円多額となっています。

(注2) 補助金等収入については、受入額の増により、予算額に比して決算額が44百万円多額となっています。また、本収入には、授業料等減免費交付金が96百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。

(注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として予算段階では予定していなかった授業料収入の増収により、予算額に比して決算額が54百万円多額となっています。

(注4) 雑収入については、特許権収入及び受託試験料収入等の増収により、予算額に比して決算額が196百万円多額となっています。

(注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究及び共同研究の受入れ増により、予算額に比して決算額が817百万円多額となっています。なお前期からの繰越額は409百万円となっています。

(注6) 目的積立金取崩については、期中に承認を受けた剰余金の執行により、予算額に比して決算額が358百万円多額となっています。

(注7) 教育研究経費については、光熱水費の高騰による支出増及び海外渡航費用の増加により、予算額に比して決算額が243百万円多額となっています。

(注8) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が49百万円多額となっています。

(注9) (注5)に示した理由等により、予算額に比して決算額が358百万円多額となっています。